（内水面漁業の振興に関する法律施行規則の一部改正）

第七十八条　内水面漁業の振興に関する法律施行規則（平成二十六年農林水産省令第四十三号）の一部を次のように改正する。

別記様式を次のように改める。

別記様式（第二十二条関係）

（表面）

内水面漁業の振興に関する法律第三十一条による立入検査をする職員の身分証明書

第　　号

年　　月　　日交付

官職

氏名

生年月日

写真

（裏面）

内水面漁業の振興に関する法律（抄）

第三十一条　農林水産大臣は、指定養殖業の許可その他この節の規定又は当該規定に基づく命令に規定する事項を処理するために必要があると認めるときは、許可養殖業者若しくは届出養殖業者に対し、指定養殖業若しくは届出養殖業に関して必要な報告を求め、又はその職員に養殖場、事業場若しくは事務所に立ち入り、その状況若しくは帳簿書類その他の物件を検査させることができる。

２　前項の規定により立入検査をする職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係人にこれを提示しなければならない。

３　第一項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。

第三十七条　第三十一条第一項の規定による報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による検査を拒み、妨げ、若しくは忌避した者は、六月以下の懲役又は三十万円以下の罰金に処する。

（花きの振興に関する法律施行規則の一部改正）

第七十九条　花きの振興に関する法律施行規則（平成二十六年農林水産省令第六十四号）の一部を次のように改正する。

別記様式第一号中「（個人の場合は氏名）　　印」を「（個人の場合は氏名）　　印」に、「　　年　　月　　日」を「　　年　　月　　日」に改める。

別記様式第二号中「（個人の場合は氏名）　　印」を「（個人の場合は氏名）」に、「し、記名押印については、氏名を自署する場合、押印を省略することができる」を「すること」に改める。

別記様式第三号及び別記様式第四号中「氏名又は名称　　印」を「氏名又は名称」に、「し、記名押印については、氏名を自署する場合、押印を省略することができる」を「すること」に改める。